

英検1級単語

英検 1 級

テーマ別

文

で覚える

ふんたん

単

熟語

【三訂版】

旺文社

英検とは

文部科学省後援 実用英語技能検定（通称：英検）は、1963年に第1回試験が実施されて以来、社会教育的な役割という発足当初からの目的と日本社会の国際化が進展するに伴い、英語の四技能「読む・聞く・話す・書く」を総合的に測定する全国規模の試験としてその社会的評価はますます高まっております。

2011年7月、文部科学省が発表した「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」の中では、中学卒業段階での英語力を英検3級程度以上、高校卒業段階で準2級から2級程度以上を目標とすると明言しており、指導する英語教師も準1級程度以上の英語力を要すると謳っております。

このように英検の資格はいつの時代も日本人の英語力を測るスケールとして活用されており、大学入試や高校入試での優遇や英語科目の単位として認定する学校が年々増えております。

また、海外においても英検資格が認知され始め、現在、アメリカやオーストラリアなど多くの大学で留学要件として認められております。

受験者の皆さんは自己の英語能力の評価基準として、また国際化時代を生きる“国際人”たり得る資格として、さらには生涯学習の目標として大いに英検にチャレンジしてください。

試験概要

(1) 実施機関

試験を実施しているのは、公益財団法人 日本英語検定協会です。ホームページ <http://www.eiken.or.jp/> では、試験に関する情報・優遇校一覧などを公開しています。

(2) 試験日程

試験は年3回行われます（二次試験は3級以上）。

第1回検定：一次試験 — 6月 / 二次試験 — 7月

第2回検定：一次試験 — 10月 / 二次試験 — 11月

第3回検定：一次試験 — 1月 / 二次試験 — 2月

はじめに

本書は「例文を通して文脈の中で単熟語を覚える」コンセプトで大好評をいただいております「英検 文で覚える単熟語」の改訂版です。

よりいっそう使いやすい紙面構成となり、収録語も最新データに基づいたものに変更いたしました。英文を読み、語彙力を上げることによって、英検1級合格のためだけでなく、総合的な英語力を高めることが可能です。

本書の刊行に際し多大なるご尽力をいただきました、成城大学 准教授 石井康毅先生、Peter Vincent 先生に深く感謝申し上げます。

本書の特徴

英検でよく出題される単熟語を5つのテーマに分類し、1,634語の単熟語を収録しています。テーマごとの英文を通して単熟語を覚え、巻末の確認テストで確認する、という流れで単語学習ができます。

1. 英文で覚える単熟語

過去問からの抜粋とオリジナルの英文を収録しています。英文を読みながら、文脈を通じて単熟語を覚えられます。また、英文中に出てきていないけれども重要な単熟語は「関連語」として掲載されています。

2. 確認テスト

テーマごとの「確認テスト」が収録されています。学習した単熟語がしっかり身に付いているかを確認できます。

英文

① **CD マーク**：付属 CD に収録されている箇所を CD1 38-39 のように示しています。CD にはアメリカ・イギリスの発音で英文音声収録されています（国旗のマークで表示）。※詳しくは p. 9 を参照してください。

② **英文**：過去問からの抜粋（リスニング問題には表示あり）とオリジナルの英文を収録しています。

※注では、長文を読むときに注意すべき語句・構文が説明されています。

③ **全訳**：英文の日本語訳です。

④ **コラム**：英文や英文中の見出し語にまつわる関連事項についてのコラムです。

単熟語

⑤ **語義その他**：見出し語の語義は英検 1 級に必須なものを中心に挙げています。また、派生語や反意語なども掲載しています。

※動詞の語義に「を」「に」などがあれば他動詞、なければ自動詞です。

⑥ **発音記号**：原則として『オーレックス英和辞典』（旺文社）に準拠しており、主に米音を採用しています。

⑦ **関連語**：見出し語や英文トピックの関連語句です。長文に出てきませんが、あわせて覚えるようにしましょう。

表示について

▶ 同意語・類義語や
英英定義

㊦ 動詞

㊦ 名詞

㊦ 形容詞

㊦ 副詞

㊦ 反意語

◎ 補足説明、用例など

▲ 発音注意

確認テスト

各テーマで学習した単熟語に関する問題と解答を掲載しています。各テーマの学習が終わったら解いてみましょう。

もくじ

本書の利用法	004
付属CDについて	009
音声ダウンロードについて	010

歴史・文化

テーマを知る	012
1 William Bligh ウィリアム・ブライ	014
2 Woodrow Wilson and the League of Nations ウッドロー・ウィルソンと国際連盟	018
3 An Enigma from Crete クレタ島で見つかった謎	022
4 Looking at Neanderthals in a New Light ネアンデルタール人を考え直す	026
5 The Origins of the Summer Olympics 夏季オリンピックの起源	030
6 Shark Teeth Used to Identify Biodiversity Loss サメの歯でわかる生物多様性の損失	034
7 New Human Species Found 新人類発見	038
8 Lost Civilization of the Sahara 失われたサハラの文明	042
9 Celebrating Mexico's Cinco de Mayo — in America アメリカでメキシコの5月5日を祝う	046
10 Viking Community Discovered in Germany ドイツで発見されたバイキングの居住地	050
11 The Forerunner of Stonehenge ストーンヘンジのモデル	054
12 Where Exactly Did Native Americans Come From? アメリカ先住民はいったいどこから やって来たか	058

13 The Gobi's Great Wall ゴビ砂漠の巨大な壁	062
14 The Independent Basque Culture バスク人独特の文化	066
15 The Great Mayan Mix-Up マヤについての大きな混乱	070
16 The Birth of Earth Day アースデーの始まり	074

社会・経済

テーマを知る	080
1 The Future of Farming 農業の未来	082
2 The Story of Babar ババールの物語	086
3 New York's Teacher Trap ① ニューヨークの教師のわな①	090
4 New York's Teacher Trap ② ニューヨークの教師のわな②	094
5 America's Gun Debate アメリカの銃規制をめぐる議論	098
6 The Financially Fortunate Have Fewer Children 裕福なほど子供は少ない	102
7 The Joy of Giving 与えることの喜び	106
8 The New Info-States 新しい情報都市	110
9 How Billionaires Back Out of Debt 億万長者の借金棒引き法	114
10 India's Coal Crisis 石炭がもたらすインドの危機	118
11 Unreliable User Reviews あてにならないカスタマーレビュー	122
12 Safeguarding Your Motivation 動労意欲のための予防線	126
13 Global Poverty at a Low 低下する世界の貧困	130

- 14 **Britain at the Brink**
瀬戸際にいる英国——134
- 15 **Banned Gas Emboldens Smugglers**
ガスの禁止が密輸業者を大胆にする——138
- 16 **Blaming the Bankers**
銀行家の罪——142
- 17 **Globalization's Changing Trends**
国際化の波の変化——146

科学・技術

- テーマを知る——152
- 1 **Shark Reproduction**
サメの生殖——154
- 2 **Guilty Until Proven Innocent?**
無罪と宣告されるまでは有罪?——158
- 3 **The World Turned Upside Down?**
ひっくり返る世界?——162
- 4 **Beware of the Robots**
ロボットを警戒せよ——166
- 5 **The Internet as a Social Revolution**
世の中を変えるインターネット——170
- 6 **How the Moon May Have Sunk the Titanic**
タイタニックを沈めたかもしれない月の進行——174
- 7 **Technological Innovation in Africa**
アフリカにおける技術革新——178
- 8 **Cloned Olympic Horses a Possibility**
クローン馬がオリンピックに出場する可能性——182
- 9 **Designing Super-Fuel-Efficient Cars**
超高燃費車の設計——186
- 10 **Sending Messages Across the Universe**
宇宙にメッセージを送る——190

- 11 **A Unique Life Form on Earth Not So Unique After All**
地球上の無比の生き物は結局それほど無比ではなかった——194
- 12 **Intelligent Skyscrapers**
自動制御が可能な高層ビル——198
- 13 **Spray-on Batteries**
吹き付け式バッテリー——202
- 14 **A Breakthrough in the Microwave Laser**
マイクロ波レーザーの飛躍的進展——206
- 15 **Sugar Floating in Outer Space**
宇宙に漂う糖——210
- 16 **Copying Nature's Designs**
自然の意匠を手本に——214

環境・食糧

- テーマを知る——220
- 1 **Fog Forests**
霧林——222
- 2 **A Toxic Legacy**
有毒な遺産——226
- 3 **Second-guessing Mother Nature**
母なる自然の先を読む——230
- 4 **LEDs May Color the Night Sky Blue**
LEDは夜空を青色に染めるかもしれない——234
- 5 **Raising Venice**
ヴェネチアの引き上げ——238
- 6 **Pythons Pose a Danger to Florida Habitat**
ニシキヘビ、フロリダの居住地に危険をもたらす——242
- 7 **A New Threat to the Ozone Layer**
オゾン層にとっての新たな脅威——246
- 8 **Global Warming May Increase Biodiversity**
地球温暖化は生物多様性を増大させるかもしれない——250

- 9 **The Impending Menace of Antarctic Methane**
差し迫る南極メタンの脅威……………254
- 10 **How Fresh Water Fortifies Hurricanes**
淡水がいかにしてハリケーンを強化するか……………258
- 11 **How a Book Saved the Bald Eagle**
1冊の本がハクトウフシをどのように救ったか……………262
- 12 **The Lure of Fatty Foods**
脂肪分の多い食べ物の魅力……………266
- 13 **Nutrition Information Overload**
栄養成分表が過重負担に……………270
- 14 **Maine's Lobster Surplus**
メイン州のロブスター、供給過剰に……………274

医学・心理

- テーマを知る……………280
- 1 **Staying Clean**
清潔でいること……………282
- 2 **Thrills without Spills?**
潤らさぬ興奮?……………286
- 3 **Big Risks in Tiny Technology**
微小技術の大きなリスク……………290
- 4 **Two-Year Olds Copy Group Behavior**
集団の行動をまねる2歳児……………294
- 5 **Survival Strategies of Sheep**
羊の生き残り戦略……………298
- 6 **Why Intelligent People Are Often Insecure**
知能が高い人々の多くが自信を持っていないのはなぜか……………302
- 7 **Ebola, a Mysterious Disease**
謎の病気、エボラ……………306
- 8 **New Breakthrough in DNA Research**
DNA 研究の新しい突破口……………310
- 9 **The Wide Perspective of Sports Psychologists**
スポーツ心理学者に課される広い視野……………314

- 10 **The Benefits of Negativity**
後ろ向きの御利益……………318
- 11 **Big Bonuses from Bilingualism**
二言語使用能力の大きな特典……………322
- 12 **Baring the Truth about Bear Intelligence**
熊の知性の真実を明かす……………326
- 13 **A New Cure with Old Roots**
昔からあった新しい治療法……………330
- 14 **The Significance of Sunburn**
日焼けの重要性……………334
- 15 **Disease Killing Animals Worldwide**
世界中で動物に死をもたらしている病気……………338
- 16 **Generating New Organs and Body Parts**
新しい臓器と身体部位を作り出す……………342

確認テスト

- 歴史・文化……………348
- 社会・経済……………351
- 科学・技術……………354
- 環境・食糧……………357
- 医学・心理……………360
- 解答……………363

- CD音声(イントロダクション)スクリプト……………366
- さくいん……………382

- 編集 九内麻紀、山田弘典
編集協力 株式会社シー・レックス、笠井良史、
鹿島由紀子、金子典子、斉藤敦、
Michael Joyce、
Serah Matsumoto
録音 有限会社スタジオ ユニバーサル
ナレーション Chris Wells (米)、
Bonnie Waycott (英)、
Ann Slater (米)
デザイン 細山田光宣
相馬敬徳(細山田デザイン事務所)
イラスト TOKUMA (bow|graphics)
(装丁・本文)

付属CDについて

本書で掲載されている英文の音声はCD3枚に収録されています。CDを併用することで、効果的に単熟語を身に付けられるのはもちろんのこと、リスニング対策にもなります。

収録内容

英文の音声は、アメリカ・イギリスの発音で収録されています。また、各英文の最初に短いイントロダクション(英語)が入っています。英文トピックやキーワードについて簡単に触れていますので、参考にしてください。

※イントロダクション部分のスク립トはp. 366以降に掲載しています。

トラック番号

CD1 [収録時間約 72分]

- track 1 CDについての説明
track 2 - 61 歴史・文化 1 - 16
 社会・経済 1 - 14

CD2 [収録時間約 73分]

- track 1 CDについての説明
track 2 - 59 社会・経済 15 - 17
 科学・技術 1 - 16
 環境・食糧 1 - 10

CD3 [収録時間約 52分]

- track 1 CDについての説明
track 2 - 41 環境・食糧 11 - 14
 医学・心理 1 - 16

〈注意〉 ディスクの裏面には、指紋、汚れ、傷などが付かないよう、お取り扱いにご注意ください。一部の再生機器（パソコン、ゲーム機など）では再生に不具合が生じることがありますのでご承知おきください。

音声ダウンロードについて

本書で掲載されている見出し語の音声が無料でダウンロードできます。

内容

- ① 通常バージョン：見出し語
- ② BGMバージョン：見出し語（BGM付き）

※②は①の内容にBGMを付けたものです。

ダウンロード方法

1 パソコンからインターネットで専用サイトにアクセス

下記のサイトにアクセスし、級を選択する。（※検索エンジンの「検索」欄は不可）
<http://www.obunsha.co.jp/service/buntan/>

2 パスワードを入力

画面の指示に従い、下記パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

パスワード：buntan1q（※すべて半角数字もしくは半角アルファベット小文字）

3 聞きたい音声をダウンロード

ダウンロードしたい音声ファイルの「DOWNLOAD」ボタンをクリックし、ダウンロードしてください。

※詳細は実際のサイト上の説明をご参照ください。

4 ファイルを解凍して、オーディオプレーヤーで再生

音声ファイルはZIP形式にまとめられた形でダウンロードされます。解凍後、デジタルオーディオプレーヤーなどでご活用ください。

※デジタルオーディオプレーヤーへの音声ファイル転送方法は、各製品の取扱説明書やヘルプをご参照ください。

〈注意〉

- ・音声はMP3ファイル形式となっています。音声の再生にはMP3を再生できる機器などが別途必要です。
- ・ご使用機器、音声再生ソフト等に関する技術的なご質問は、ハードメーカーもしくはソフトメーカーにお問い合わせいたします。
- ・本サービスは予告なく終了されることがあります。